

5

中期的な目標

- ここでは、昨年度の業績計画で提示していたアウトカム指標のうち、中期的な目標となる平成19年度の目標値を提示していたものを整理します。
- 中期的な目標とは、平成15年度より開始した行政マネジメントシステムの区切りとなる5年間(平成19年度)で達成を目指す目標です。引き続き、指標向上に資する関連事業の進捗を把握しつつ、平成19年度に達成状況を評価します。

茨城県の 道路整備方針	地域の課題・ 目指すべき方向	アウトカム指標	単位	現況値※1	平成19年度
					目標値
陸・海・空の交通ネットワークづくり (都市間連携軸の強化に 資する道づくり)	農業の活性化支援	①高速道路ICから15分圏域JA数	箇所	11	5箇所向上 (16)
	観光振興の支援	②主要観光施設から 60分圏域市町村人口(季節別)	万人	春: 41.7 夏: 140.0 秋: 39.9 冬: 134.7	春: 4.7増加(46.4) 夏: 11.7増加(151.7) 秋: 0.2増加(40.1) 冬: 14.4増加(149.1)
	地域連携の強化	③県土60分構想の進捗	分	87	10分短縮 (77)
	物流・交流拠点への アクセス性向上	④高速道路IC30分圏域の市町村人口	万人	216	33増加 (249)
		⑤常陸那珂港1時間圏域の市町村数	市町村	30	8増加 (38)
		⑥百里飛行場へのアクセス時間 (常磐道千代田石岡ICより)	分	38	16分短縮(22)※2
		⑦国際物流拠点※3から30分圏域 工業団地・主要事業所数	箇所	15	3箇所増加 (18)

※1: 現況値: 行政マネジメント開始時の現況値(平成14年度)

※2: 百里飛行場民間供用時の目標

※3: 国際物流拠点: 常陸那珂港、日立港、百里飛行場、つくば国際貨物ターミナル

5

中期的な目標

① 高速道路ICからの15分圏域JA数

- 茨城県は全国有数の農業産出額を誇ります(全国3位)。
- 主要生産品の出荷先は東京以西に集中していますが、高速道路へのアクセスが悪いため競争力の弱いJAが存在しています。

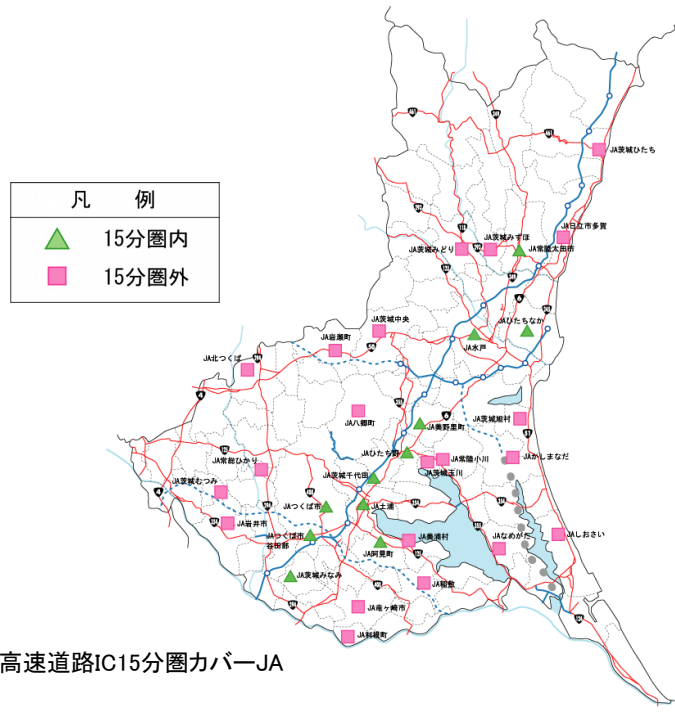


図: 高速道路IC15分圏カバーJA

出典: 交通量推計結果

現状・課題

成果目標

現況値	11箇所
H19目標値	16箇所

- 【指標向上に寄与する主な事業】
- 一般国道6号 日立バイパス
 - 一般国道6号 榊橋
 - 一般国道50号 下館バイパス
 - 一般国道50号 岩瀬IC関連 等

② 主要観光施設から60分圏域市町村人口

- 茨城県には四季折々の観光名所が各地に分布しています。
- 各地の観光客数は季節によって変動が大きく、ピーク時期には観光施設周辺で道路混雑が発生しています。
- 観光客の約8割がマイカー利用であり、マイカー観光への対応強化が課題です。

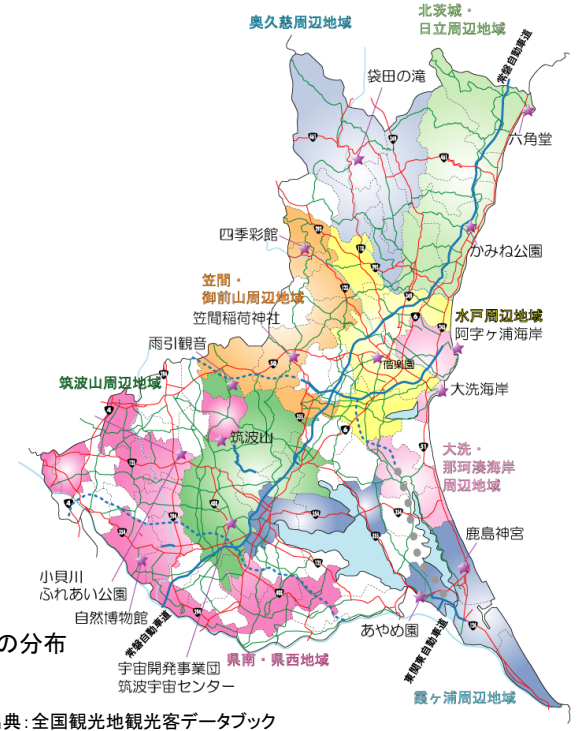


図: 茨城県の観光地域の分布

出典: 全国観光地観光客データブック

現状・課題

成果目標

	春 (あやめ園)	夏 (大洗海岸)	秋 (袋田の滝)	冬 (借楽園)
現況値	41.7万人	140.0万人	39.9万人	134.7万人
H19目標値	46.4万人	151.7万人	40.1万人	149.1万人

※平成15年3月末時点の市町村単位で算出

- 【指標向上に寄与する主な事業】
- 首都圏中央連絡自動車道 (圏央道) 等

5

中期的な目標

③ 県土60分構想の進捗

- 茨城県は広い県土に拠点となる中小都市が分散し、都市間の連絡に時間を要しています。
- 地域の隣接している水戸～筑西(旧下館市)でも、所要時間が60分を大幅に超過しています。

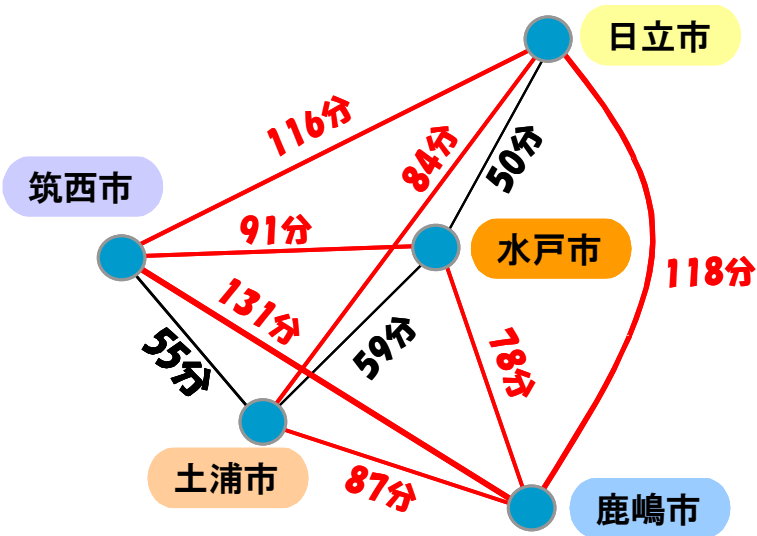


図: 拠点都市間の移動時間

出典: 交通量推計結果

現状・課題

成果目標

現況値	87分
H19目標値	77分

【指標向上に寄与する主な事業】
 ・首都圏中央連絡自動車道(圏央道)等

④ 高速道路IC30分圏域の市町村人口

- 県西地域など、高速道路空白地域が依然存在します。
- 高速道路ICまで30分で到達できない人口が約82万人となっています。

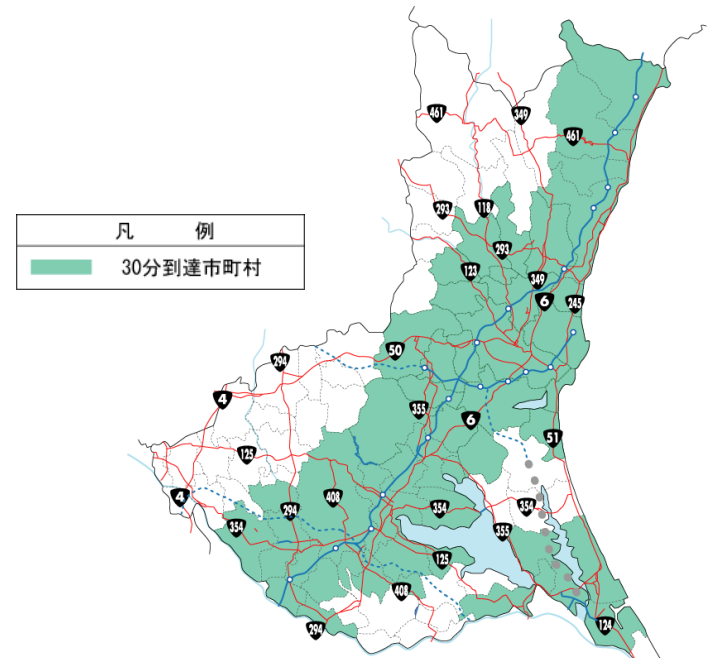


図: 高速道路IC30分到達市町村

出典: 交通量推計結果

現状・課題

成果目標

現況値	216万人
H19目標値	249万人

【指標向上に寄与する主な事業】
 ・首都圏中央連絡自動車道(圏央道)
 ・一般国道50号 岩瀬IC関連 等

※平成15年3月末時点の市町村単位で算出

5

中期的な目標

- ⑤常陸那珂港1時間圏域の市町村数
- ⑥百里飛行場へのアクセス時間(常磐道千代田石岡ICより)

- ・貨物取扱量を順調に伸ばしている常陸那珂港への円滑な輸送確保が課題です。
- ・民間共用化にむけ準備中の百里飛行場と常磐自動車道(千代田石岡IC)とのアクセス強化が課題です。

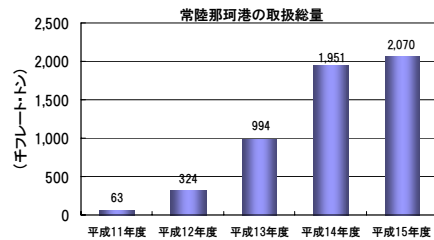
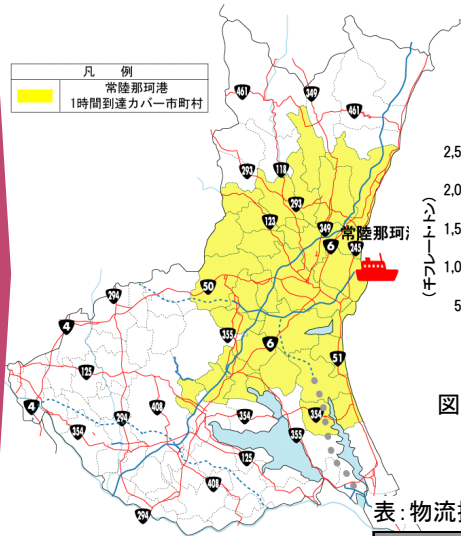


図: 常陸那珂港の取扱貨物量
出典: 関東地方整備局港湾局ホームページ

表: 物流拠点と高速道路ICとの連絡時間

物流拠点	最寄りの高速道路IC	所要時間(分)
常陸那珂港	常陸那珂港IC	1
日立港	日立南太田	15
百里飛行場	千代田石岡IC	38
つくば国際物流センター	谷田部	1

出典: 交通量推計結果

図: 常陸那珂港からの1時間圏
出典: 交通量推計結果

現状・課題

- ⑤常陸那珂港1時間圏域の市町村数
- ⑥百里飛行場へのアクセス時間(常磐道千代田石岡ICより)

現況値	30市町村
H19目標値	38市町村

※平成15年3月末時点の市町村単位で算出

【指標向上に寄与する主な事業】

- ・一般国道6号 日立バイパス
- ・一般国道50号 下館バイパス 等

成果目標

現況値	38分
百里飛行場 民間供用化時	22分

【指標向上に寄与する主な事業】

- ・一般国道6号 千代田石岡バイパス 等

- ⑦国際物流拠点から30分圏域工業団地・主要事業所数

- ・常陸那珂港、日立港、百里飛行場、つくば国際貨物ターミナルなど、県内には国際物流拠点が立地しています。
- ・既存工業団地・主要事業所の競争力を高め、企業誘致の魅力向上に向け、これら物流拠点へのアクセス向上が課題です。

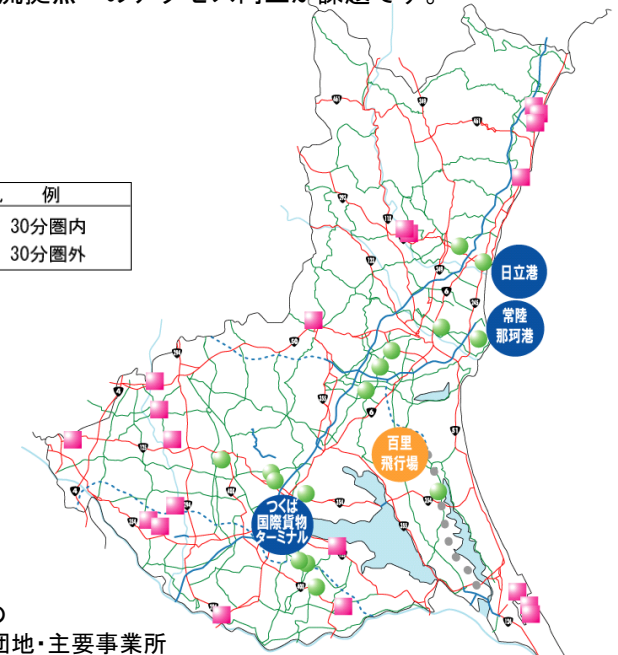


図: 国際物流拠点への30分到達工業団地・主要事業所

出典: 交通量推計結果

※主要事業所: 従業員1,000人程度の企業の事業所(茨城県総合物流計画より引用)

現状・課題

成果目標

現況値	15箇所
H19目標値	18箇所

【指標向上に寄与する主な事業】
・一般国道6号 日立バイパス 等